

ゲイ、レズビアン、バイセクシュアル、トランスジェンダー（GLBT）クライアントをカウンセリングする際の心がけ

カウンセリングを求めて急増するセクシュアルマイノリティのクライアントに対して、すべてのカウンセラーはこのユニークな問題を抱えるクライアント達に対し、精通しておく必要があります。ゲイ、レズビアン、バイセクシュアルカウンセリング問題協会（AGLBIC）は専門家としてのカウンセリングの発展を奨励するためとしての心構えを以下に記します。

大学院でのカウンセリング履修過程にこの心構えを取り入れることにより、まだ養成課程にあるカウンセラーに対し、GLBTクライアントに対する個人的偏見や価値観を考察し、セクシュアルマイノリティの世界観をよりよく知り、そして効果的なカウンセリングサービスの提供の方策を発展させる機会または術を与えることとなります。

人間の発達と成長

適格なカウンセラーは：

- 生物学的、家庭環境、心理社会的な要因がどのように GLB への方向付けやトランスジェンダーアイデンティティの発達に影響するかへの理解をもつ。
- 現行の発達心理学の理論に見受けられる異性愛者（マジョリティー）の決め付けを見極め、この偏見をアセスメントやカウンセリング実践の際に考慮する。
- カミングアウトの過程のため、GLBT クライアントはしばしば実年齢と現行の発達心理学の理論に描かれる発達段階との間に遅れをとることがあるということを確認する。
- GLBT の人々にとって、アイデンティティ形成と GLBT にまつわる恥辱への心理的対処は同時に起こり、また一生涯続く発達過程のものであるということを確認する。
- GLBT の青少年少女たちは、以下にあげられる問題により、心理発達過程において、しばしば混乱をきたすことへの理解をもつ：アイデンティティの混乱、不安障害、うつ病、自殺願望、自殺行為、落第、薬物乱用、身体的、性的、そして言葉での虐待、ホームレス、売春、それに、性病や HIV 感染。
- GLBT の年配者たちの発達心理過程は社会的孤立と目立たなさにより、しばしば複雑化し、妥協されることがあるということを確認する。
- セクシュアルマイノリティの人々は GLT オリエンテーションとトランスジェンダーのアイデンティティを完全に機能させ、情緒的に健康な生活へと統合する可能性を持つことを知る。

社会的、文化的基礎

適格なカウンセラーは：

- 異性愛者（マジョリティー）の考え方は **GLBT** の人の健康的に機能している性的オリエンテーション、ジェンダーアイデンティティーと行動を傷つける世界観と価値観であることを認める。
- 異性愛者（マジョリティー）の考え方は多くの制度や慣習の社会的、文化的基礎へ広く普及し、それは **GLBT** の人々に否定的な態度を助長するものでありうることへの理解をもつ。
- 異性愛者（マジョリティー）の考え方や人種差別や性差別などに挙げられる内面化された差別意識はカウンセラー自身や **GLBT** クライアントの考え方に影響を持つかもしれないと認識する。
- **GLBT** の女性やマイノリティーの心理的発達過程においてのジェンダー、人種的、そして、性的なアイデンティティーの基礎と統合を理解する。
- **GLBT** の人々特定の文化的慣習、慣例、通過儀礼をよく慣れ親しんでいる。

カウンセリングの関係

適格なカウンセラーは：

- **GLBT** の人々が体験する社会的偏見や差別に理解をもち、彼らが自らの性的オリエンテーション、ジェンダーアイデンティティーに対し、内面的に否定的な態度を克服することを手伝う。
- カウンセラー自らの性的オリエンテーション、ジェンダーアイデンティティーはカウンセリングにおいてのクライアントとの関係や過程に関連するものであることを認識している。
- カウンセラー自らの **GLBT** の人々に対する偏見や知識不足がカウンセリングにおいてのクライアントとの関係に否定的に影響しないように相談や指導指示を求める。
- **GLBT** の人々の性的オリエンテーション、ジェンダーアイデンティティーを変えようと試みる行為は彼らを傷つけ、命をも奪う行為でありうること、またそれは学術研究によって立証されておらず、決して行うべきではないことを理解する。

グループカウンセリング

適格なカウンセラーは：

- 一人だけしか少数文化を代表するクライアントがいない場合に、グループに起こりうる状況を敏感に感じ取り、グループメンバーを審査選考する段階に

において、GLBTのクライアントに対してはその支持者をグループに加えることの必要性があることを考慮する。

- グループの規範を確立しグループ内の安心感を促し、GLBTのクライアントをメンバーとして包括するインターベンションを行う。
- グループの規範を定め、GLBTクライアントの自主的な自己同一化と自己について打ち明けやすい環境をつくる。
- 明らかにもしくは暗示的にGLBTクライアントに対する不承認がメンバーの安心感、グループの結合力と誠実さを脅かすとき、カウンセラーは積極的に仲裁する。

キャリアと生活様式的发展

適格なカウンセラーは：

- GLBTクライアントのキャリア発展や意思決定を制限する職業的ステレオタイプに対抗する。
- 性的オリエンテーションとジェンダーアイデンティティーに基づく職業的差別に対しどの程度政治的法規と労働組合の約定が保護しないかをGLBTクライアントとともに細かく探る。
- アイデンティティー成立し仕事の満足感の両方を促進するキャリア選択をGLBTクライアントが行うことを助ける。
- 実行可能なキャリア選択肢に対するGLBTクライアントの気づきを高める性的マイノリティ役割モデルを彼らに伝える。

評価

適格なカウンセラーは：

- ホモセクシュアリティ、バイセクシュアリティ、そして性の不一致は精神病でも成長阻止の証拠では必ずしもないということを理解している。
- GLBTクライアントがカウンセリングにおいて取り組もうとするかもしれない社会的偏見や差別が作り出すいろいろな問題をはっきりと知っている。
- クライアント自身や彼らの世界に対する認識へ影響する性的オリエンテーションやジェンダーアイデンティティーの真の特性を熟考する。
- 性的オリエンテーションやジェンダーアイデンティティーが示されている問題に直接関係があると仮定せずにGLBTクライアントを査定する。
- GLBTクライアントの示す問題事を査定し診断する際に、彼らの性的オリエンテーションにまつわる恥辱の影響、ストレスに対する反応、そして精神病理の症状、これらの違いを区別する。
- 心理テストや測定を解釈する際に、異性愛者の偏見の差しさわりが起こりえることを認識する。

研究

適格なカウンセラーは：

- GLBT の人々に対するステレオタイプ的な仮定に基づいたものではなくとも、研究対象者に GLBT の参加者を含むことが可能である研究問題の提起をする。
- GLBT の人々が対象とされる研究に対して、倫理的、法的問題を熟考する。
- GLBT の人々が対象とされる研究において、研究計画、秘密性、サンプリング、データ収集、そして測定に関して研究方法的制限があることを分かっている。
- 研究結果の解釈や報告において、異性愛者的偏見がありうることを理解する。

専門家的態度

適格なカウンセラーは：

- GLBT の人々に対するサービスデリバリーが妥協されるに至った、意義深い要因や出来事などを含む、カウンセリング職の歴史を知る。
- GLBT クライアントの必要とすることやカウンセリング問題に精通し、恥辱的にではなく、確信的に、メンタルヘルス的な、教育的な、そして地域社会的なリソースを使う。
- 専門家、生徒、指導を受ける者や GLBT 問題に関する人々を教育することの大切さを知り、マイノリティーの人々に対する間違った情報や偏見に挑戦する。
- 特に GLBT の人々と彼らの家族に対するカウンセリングに関しての態度、知識、そしてスキルを高めるため、専門家として能力を高める機会があればそれらを大いに活用する。